

令和2年度の苦情・相談

1 ひと月の間に、2回も顔面を強打し、同じ前歯2本を損傷した。(乳歯がグラグラしている)

しっかり養護してくれているのか。我が家では特に歯は大切にしている。安全だと思っていた保育所での続くケガに納得できない。

(令和2年12月)

(概要)

1回目は、散歩中、着座時に首から下げていた水筒で前歯を強打、2回目は、異年齢交流時にホール内を駆けていて転倒し、前歯を床面に強打した。歯医者にて手当ですが根元からぐらつき根治しない。一番大切にしていた歯だけに、母親はショックを受けている。

(対応)

- ・母親からの強い要望により、保育士の近くでの行動に制限する。
- ・異年齢児交流時は、特に張り切りすぎないように声掛けを増やす。
- ・昼食は、当面、刻み食とする。

2 何事にもゆっくりな性格。集団に入れなくてもよいので、見守ってほしいと伝えている。しかし、送迎時には出来ないことばかり伝えられ、情動的にネガティブになる。

また、保護者への伝え方は、友人言葉ではなく、社会人として常識的な話し方をすべきではないのか。

(令和3年3月)

(概要)

- ・何事にも動作がゆっくりなことに対して、「家では姉が手伝っているのか」と発言
- ・座り込んでいる姿に対して、「ズボンを履く特訓をしました」と発言
- ・「給食をガツガツと凄い勢いで食べる」「朝食の量を増やしたら」「パン食からごはん食へ変更したら」と発言。

(対応)

- ・一人ひとりを大切にされた保育の基本に沿っているか自己点検をする。
- ・保護者の思いを受け止めて、寄り添っていく。
- ・独りよがり又は上から目線のアドバイスは不要。信頼が得られるよう節度と誠意を持った職業人としての行動をとる。プロ意識の再構築。